

公立大学法人兵庫県立大学経営審議会（令和２年度・第34回）議事録

- 1 日 時 令和２年６月２３日（火）
午後１時３０分から午後３時４０分
- 2 場 所 神戸市西区学園西町８－２－１
兵庫県立大学本部大会議室

3 出席者

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| (1) 理事長 | 五百旗頭真 | 学長兼副理事長 | 太田 勲 |
| 副理事長 | 平野 正幸 | 理事兼副学長 | 高坂 誠 |
| 理事兼副学長 | 内布 敦子 | 理事兼副学長 | 山崎 徹 |
| 理事兼事務局長 | 戸田 康 | 理事（非常勤） | 尾野 俊二 |
| 理事（非常勤） | 福田 眞澄 | 委員（外部有識者） | 池野 忠司 |
| 委員（外部有識者） | 井上 明久 | 委員（外部有識者） | 井上 琢智 |
| 委員（外部有識者） | 大橋 忠晴 | 委員（外部有識者） | 國井総一郎 |
| 委員（外部有識者） | 藤浪 芳子 | 委員（外部有識者） | 南 裕子 |
| 監事（非常勤） | 伊藤 聡 | 監事（非常勤） | 岡本 俊二 |
| 副学長 | 樋口 芳樹 | | |

4 審議事項

- (1) 第１号審議 令和元年度 業務実績報告に関する件
- (2) 第２号審議 令和元年度 決算に関する件

5 議 事

- (1) 第１号審議 令和元年度 業務実績報告に関する件

事務局から、教育・研究・社会貢献・管理運営の各項目別に、令和元年度の取組実績や自己評価結果について、「令和元年度に係る業務の実績に関する報告書（案）」に基づき説明を行い、審議された。

（委員からの主な意見）

- ・ 自己評価が「a」評価ではなかった小項目について、「a」評価にならなかった原因は何か分析することが必要である。
- ・ 点在するキャンパス間の連携が課題であったが、新型コロナウイルスでWeb授業が浸透する等デジタル化が進んでおり、この機会にキャンパス間の連携を推進してほしい。

- (2) 第２号審議 令和元年度 決算に関する件

事務局から、令和元年度決算について、「財務諸表（案）」、「決算報告書（案）」、「事業報告書（案）」に基づき説明を行い、審議された。

（委員からの主な意見）

- ・ このような会議資料こそ、データを使ったペーパーレスで実施することを検討してはどうか。

6 報告事項

(1) 教育研究活動の状況と学生支援について

事務局から、新型コロナウイルス感染症に関して、本学の危機管理対策本部における検討経過、教育・研究活動の状況、学生の支援及び新型コロナウイルス関連研究等について、資料に基づき報告を行った。

(委員からの主な意見)

- ・ 今後第2波が来た時、知事は大学に集まる専門家の有効活用を期待している。教育研究機関としてやるべきこと、社会貢献としてやるべきことを整理しておく必要がある。

7 その他事項

(1) 芸術文化観光専門職大学（仮称）設置に伴う今後のスケジュールについて

事務局から、兵庫県が芸術文化観光専門職大学（仮称）の設置準備を進めていることに伴い、法人の定款及び中期目標の変更に関して、7月及び8月に持ち回り審議を実施することについて資料に基づき説明を行い、了承された。

(2) 令和2年度経営審議会開催予定について

事務局から、令和2年度経営審議会開催予定（次回10月19日（月）、法人本部）について説明を行った。

以上